

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
子育てふれあいプラザ のびすく長町南	・兄弟連れで来館している利用者さんから、下の子どもと赤ちゃん部屋にいると、ひろば見えず上の子の様子がわからないとの意見があり、扉の開放をした。	・開放したことで異年齢の交流も広がり、親子、兄弟と一緒に過ごせるようになった。赤ちゃん部屋に大きい子が駆け込んでくると危険なので、開放扉を半分にする等安全面も工夫した。	平成31年4月
子育てふれあいプラザ のびすく長町南	・幼稚園や小学生の来館があると、大きい子の遊び方で怖いと感じることがあるとの声があった。	・広いスペースなので走りたくなったり、元気な遊び方をしてしまう子どもたちがいるので、テーブルなどのレイアウトで道を遮ったり工夫をしていたが、職員が広場にでて声がけしたり、一緒に遊んだりして安全に過ごせるようにした。	令和元年7月
八幡児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	「トイレのスリッパをそろえられる子が少ないので工夫してあげて欲しいです。」というアンケートに答えて、トイレのスリッパを置く場所に、ビニールテープで仕切った。	その結果、子ども達もスリッパをキチンと揃えるようになった。	令和元年12月
			
中山児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	折り畳み式おむつ交換台の使用手順が難しく、交換台転倒の危険が多少あったことから、より簡便に使用できる折り畳み式おむつ交換台を譲り受け、使用手順の掲示と併せて設置した。	利用者が、使用の度に事務室の職員へ声がけする必要がなくなったため、これまでより気軽に使用できるようになった。	令和2年3月
上杉児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	利用者アンケートで受付の表示が小さく分かりにくいとの指摘があったことを受け、児童館に続く階段の正面に大きく表示した。	利用者よりとても分かりやすくなったとの感想をもらった。	令和2年2月
栗生児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	「小学生向けにダンス等身体を動かす遊びをしてはどうか」という利用者の声に応え、行事『ヒップホップダンス～動と静～』を実施した。	普段遊びのバリエーションが広がり、日常的にダンス等の身体を動かす遊びを行うようになった。	令和2年2月
南吉成児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	掲示物の依頼が多く、また、チラシ類の種類が多いため、利用者が情報を得にくい状態だった。そこで、掲示板とチラシ類を立てて設置できるラックを購入し、利用者が見やすく手に取りやすいように改善した。	利用者から、「見やすくなった。」「取りやすくなった。」と好評を得ている。	令和2年3月
大竹児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	掲示物にイラストを挿入。安全面に配慮した分かり易いものに作り変えた。	おむつ交換台の使用上の注意点を分かり易く書かれていて安心して使用することができたとのお声を頂いた。	令和元年6月
			
大竹児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	図書室を模様替えして、子ども達に人気の図書やボードゲーム等を利用しやすいように棚に整理した。	使用頻度の高いボードゲームを、教室から図書室に保管場所を移動したことで利用しやすくなったと好評を博した。	令和2年1月
			

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>川前児童館</p> <p>※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>幼児保護者からの砂場が欲しいという要望を受け、館庭の一角に砂場を設置した。</p>	<p>館庭での遊びの種類が増え、利用者からも好評である。</p>	<p>令和元年7月</p>
<p>愛子児童館</p> <p>※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>月1回、赤ちゃんルームを設置し、0歳児親子同士が交流を図れるように場を提供した。</p>	<p>母親だけでなく、父親も来館するなど交流の幅が広がった。職員も積極的に関わることでそれぞれの子育ての思いを共有することができた。</p>	<p>平成31年4月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
南小泉児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	施設南側の館庭は直射日光を受けやすく、特に夏の期間は強い日射しを浴びることで利用を控える傾向が見られたため、新しくテントを用意し天候に応じて設置するようにした。 	乳幼児親子からは、テントがあることで日陰で休むことができ、暑くて日射しが強い日であっても安心して外で遊ぶことができると好評を得ており、館庭の利用数も増えた。	令和元年6月～9月
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	本館玄関のくつ箱前(三和土)にすのこを増やし、くつの脱ぎ履きをしやすくした。	くつしたのまま三和土に立つことができなくなり、足裏や館内を清潔に保つことができるようになった。	令和元年12月
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	サテライト室での運動遊びの種類や機会を増やした。また、運動遊びの様子を撮影し、迎える保護者も見ることができるよう館内に掲示した。	身体を動かして遊ぶことが増えたことで、子どもたちが心身ともに安定し、落ち着いて過ごすことができるようになった。写真を掲示することにより、サテライトでも運動遊びをしていることを知り、安心したり喜ばしく思う保護者が多かった。子どもとの会話のきっかけにもなっているようだ。	令和元年12月
南材木町児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	乳幼児保護者より「ランチスペースを広くしてほしい。」という要望があり、児童クラブ室を13:00まで開放した。	ゆったりと過ごせるようになり、保護者同士の交流も見られるようになった。	令和2年1月
南材木町児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	幼児用の椅子を設置してほしい、という声があり設置した。	昼食時等「落ち着いて過ごせるようになった。」というお声をいただいた。	令和2年1月
西多賀児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	降雨時、市民センター・児童館正面玄関付近が濡れる事案が発生したため、庇を延長し、雨樋を設置する工事を行った。	雨水の吹き込みや水漏れが軽減され、利用者の方の安全確保・利便性向上につながった。	令和2年1月
柳生児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	乳幼児保護者から子ども用のトイレの便座が2歳児には、大きいとの声があり、幼児用の便座を設置した。	安心してトイレを使用できると好評である。	令和元年6月
人來田マイスクール児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	小学校に常備してあるAEDを金曜日の夕方に借用し、土曜日の利用者の方への事態に対応できるようにした。	児童館の利用者の安全を図るだけでなく、校庭利用者や周辺住民にも「土曜日には児童館にAEDがある。」ことで万一の際には、役立ててもらえるよう広報していきたい。	平成31年4月
南光台児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	地域の施設のパンフレットやチラシの置き場所を2月の豆まきにちなんで、牛乳パックに鬼の飾りをつけて、それに入れて紹介するようになった。 	保護者がパンフレットやチラシを取るときに、「季節感を感じる」と好評でした。	令和2年2月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
向陽台児童館 ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	看板、表示等のわかりにくさを改善（外周フェンスに大型看板設置、駐車場に表示） 	分かりやすくなったと好評を得ている。	令和2年3月
向陽台児童館 ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	保護者との個人面談や授乳等にも使用できるように創作活動室にカーテンを設置した。	プライバシーが守られると、利用者から好評を得ている。	令和2年3月
向陽台児童館 ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	交流スペースベンチ前に丸テーブルを置き、乳幼児の保護者がお子さんを抱っこしたままでも、受付名簿を書きやすとした。	受付簿を記入しやすくなったとの声をいただいた。	令和2年3月
南光台東児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	花壇の整備をするとともに、季節の花を植えたプランターを設置した。	利用者や散歩の方が足をとめて「きれいだね」声をかけていられる。職員との会話のきっかけにもなっている。	令和元年5月
南光台東児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	園庭の草刈りの頻度をあげ環境整備に努めた。	蚊や害虫の発生が少なくなり、近隣の方も喜んでいる。労いの言葉をかけられることもあった。	令和元年6月
南光台東児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	乳幼児むけ行事のお知らせ掲示板を作成した。	利用者から、「見やすい」「わかりやすい」と好評を得た。	令和元年11月
鶴が丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	駐車場が狭くラインもなかったことから、効率よく停めることができなかった。ラインを引くとともに、停め方の図を掲示した。また、駐車場がいっぱいの際は電話をいただき、職員が誘導することを掲示した。	利用者が迷うことなく止められるようになり、駐車場を最大限活用できるようになった。また、職員がすぐに誘導することで、利用者には負担をかけることが少なくなった。	令和元年5月
長命ヶ丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	安全衛生面に配慮したシンプルなすべり台を購入した。	乳幼児の運動できる遊び場としてロコミで広がり、来館者親子の増加につながった。	令和元年12月
長命ヶ丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	掲示を道路側の窓にも行った。	駐車場からも表示が確認でき、分かり易くなったと利用の皆様から好評をいただいた。	令和元年9月
長命ヶ丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	公道に面した掲示板を見やすい大きさや高さに変えた。	道路の向かい側から、高齢の方も足を止めて、見ていただけるようになった。	令和元年7月
長命ヶ丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	玄関ホールのレイアウトを変え、壁面にパネルを貼り明るい雰囲気になるよう工夫した。	利用者の皆様から、明るくなった・入りやすくなった、掲示が判りやすくなった等のお声をいただいた。	令和元年11月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
長命ヶ丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	広々トイレに幼児用の踏み台を設置した。	乳幼児親子の利用が増え、使用頻度が増えてきている。	令和2年2月
将監児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	真夏の園庭は、午前中に日影がなく、幼児親子さんは炎天下のもとで遊んでいたため、園庭にタープテントを設置し、日陰になる休憩場所を作った。	日陰を利用しながら、親子で遊ぶ姿が見られ、利用者からも好評だった。	令和元年7～8月
南中山児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	利用者より、トイレ内に荷物を置く棚がほしいとの声をいただき、女子トイレ個室内に突っ張り棚を設置した。	利用者から、快適に使用できるようになったとお声をいただいた。	令和2年2月
虹の丘児童センター ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	子育て支援室内の授乳スペースに間仕切り用のカーテンはあったが、窓にはレースのカーテンしかなかったため、窓にカーテンを付けた。	カーテンの設置により、以前より安心して授乳できるようになったとの声をいただいている。	令和元年11月
中野栄児童館 ※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営	館内の配布物（他団体からの配布依頼物も含む）を、棚を利用しまとめて設置した。	掲示物との区別をつけ、利用者の目に触れやすい場所に設置し取りやすくしたことで、持ち帰る利用者が増えた。	令和元年8月
市名坂児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	乳幼児親子向けに、児童館の蔵書の貸し出しを開始した。（2冊2週間）	市の図書館だと予約待ちの本でも児童館だと迅速に借りる事ができて、大変好評だった。	平成31年4月
市名坂児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	乳幼児親子向けに1か月に1度、普段使用していない玩具を 遊戯室一面に広げ「おもちゃDay」を開催。（自由参加）	プラレールDayが大好評だが加えて、普段目にしない玩具を遊戯室で思い切り遊べると喜んでいただいている。	令和元年5月～
市名坂児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	児童館外壁に「My フラワー通り」を設置し道行く人達に自分のお気に入りの花の苗をハンギングに植えてもらい、世話は児童館でするが、植えてくださった方には児童館の前を通る度に花を楽しんでもらう。	花を植える事も花の成長も楽しみにして、足を止めて写真を撮ったり写真をカレンダーに印刷してお子さんのメッセージ付き葉書を送ってくれたり反響が大きく、大変喜んでもらっている。	令和2年3月
小松島児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	以前から、利用者よりトイレ便座の暖房対応を考えてほしいという要望があり、暖房便座を設置した。	快適にトイレを使用することができるようになったとの声をいただいた。	令和元年9月
小松島児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	幼児が玄関を出入りする際、安心して靴の脱着ができるよう低いイス(台)を用意した。	イスを利用する幼児も多く、好評である。	令和2年2月
鹿野児童館 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	放課後児童クラブ通信に、子どもたちの様子の写真を多く載せるようにした。また、迎えに来た保護者にできる限り子どもの様子を話すようにした。	児童クラブ通信や対話を通して、職員と保護者の信頼関係をより深めることができた。	平成31年4月
原町児童館のびすく宮城野 ※（特非）MIYAGI子どもネットワークが運営	遊戯室の気温上昇に伴い、利用者の安全面に配慮し、大型扇風機を増設したほか、熱中症計で小まめに計測し、注意喚起に努めた。	廊下側から、扇風機で冷房の冷気を送ったり、計測により利用者へ注意や水分補給の声かけをすることで熱中症対策に繋がっている。	令和元年7月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
原町児童館のびすく宮 城野 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	ひろばに手作りのころころおもちゃを設置した。	身近な素材(ペットボトル)を使って、親子で楽しめる手作りおもちゃを設置したところ、とても好評で「家でも作りたい」との声が寄せられた。	令和元年11月
原町児童館のびすく宮 城野 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	施設の場所が分かりにくかったため、通行人にも分かるように外壁の装飾物を新しくリニューアルして分かりやすくした。	以前より目を引き、一目で施設の名称が分かり親近感のある外観になった。	令和2年3月
原町児童館のびすく宮 城野 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	ホームページとブログをリニューアルした。	動画等を活用して視覚情報を多く取り入れた。利用者からは「とても綺麗」との評価を得ている。	令和2年3月
原町児童館のびすく宮 城野 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	乳幼児の靴の取違いがあったため、取り間違い防止のため、乳幼児親子向けにナンバー入り靴クリップを設置した。	使用方法が分かり易くなり、利用者に活用いただいている。設置後の取違いは無くなり改善に繋がっている。	令和2年3月
原町児童館のびすく宮 城野 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、早期に玄関・受付・窓口に飛沫防止のビニールシートを設置した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のソーシャルディスタンスの実践が、視覚的にも伝わりやすく、利用者、来館者により安心して利用いただける環境をつくることができた。	令和2年3月
新田児童館 ※(特非)せんだい杜の子ども劇場が運営	毎月の乳幼児向けカフェに民生委員に加えて宮城野区から保健師さんにもご参加いただくようにした。	新田地区担当の保健師さんとお母さんたちとの交流が深まり、気軽に相談できると好評をいただいた。	令和元年6月
新田児童館 ※(特非)せんだい杜の子ども劇場が運営	月一回乳幼児向けハンドリンパケアマッサージの日を設けた	マッサージして頂く方からの申し出で始まった。手だけでなく腕の方までしていただくので、受けた方はとても喜んでいる。	令和元年6月
新田児童館 ※(特非)せんだい杜の子ども劇場が運営	一輪車であそぶ小学生のために、練習用の手すりと収納の場所を作った。	小学生で一輪車に乗れる子が多くなった。夢中で練習する姿が毎日見られる。体力向上につながっていると感じる。	令和元年8月
			
金剛沢児童館 ※(特非)ワーカースコープが運営	お菓子作り等人気のイベントがすぐに定員になってしまうので、2回開催してほしいとの声をいただいたため、2月のお菓子作りは2回開催した。	利用者から「いつも姉妹のどちらかしか参加していなかったが、そろって参加することができた」等、好評をいただいた。	令和2年2月